

令和7年度 学校評価集計

(1) 学校評価の結果報告 (成果と今後の課題)

<input type="radio"/> 本校全職員	P 1 ~ 3
<input type="radio"/> グラフ	P 4
<hr/>	
<input type="radio"/> 幼稚部職員	P 5 ~ 7
<input type="radio"/> 幼稚部保護者	P 8
<input type="radio"/> グラフ	P 9
<hr/>	
<input type="radio"/> 小学部職員	P 10 ~ 12
<input type="radio"/> 小学部保護者・小学部児童 (5年以上)	P 13 ~ 14
<input type="radio"/> グラフ	P 15
<hr/>	
<input type="radio"/> 中学部職員	P 16 ~ 18
<input type="radio"/> 中学部保護者・中学部生徒	P 19 ~ 20
<input type="radio"/> グラフ	P 21
<hr/>	
<input type="radio"/> 高等部職員	P 22 ~ 24
<input type="radio"/> 高等部保護者・高等部生徒	P 25 ~ 26
<input type="radio"/> グラフ	P 27
<hr/>	
<input type="radio"/> 分教室職員	P 28 ~ 30
<input type="radio"/> 分教室保護者・児童・生徒	P 31 ~ 32
<input type="radio"/> グラフ	P 33
<hr/>	
<input type="radio"/> 寄宿舍	P 34 ~ 35
<input type="radio"/> グラフ	P 36
<hr/>	
<input type="radio"/> 事務室	P 37
<input type="radio"/> グラフ	P 38
<hr/>	

(2) 実施期間

令和7年11月21日(金) ~ 12月 5日(金)

対象：教職員、児童生徒(小学部5年以上)、保護者

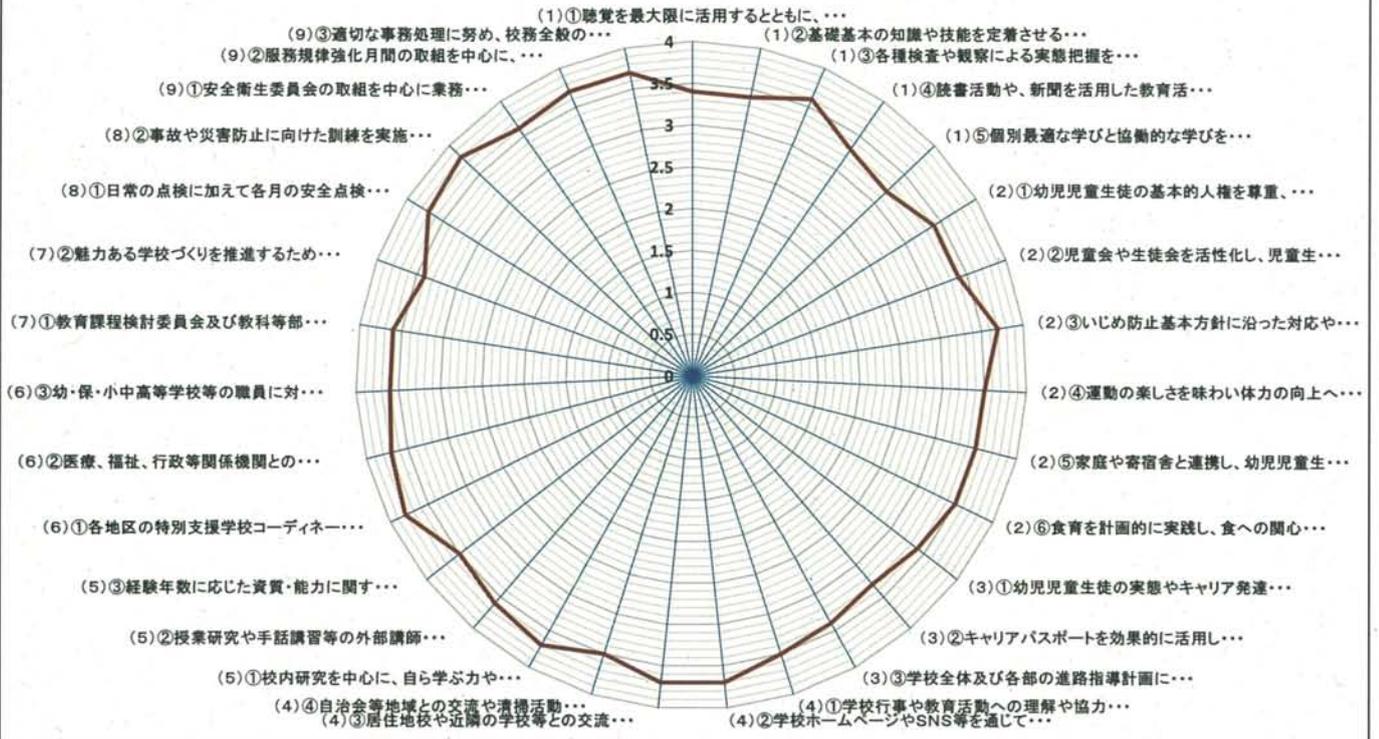
令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(本校・分教室全)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。		
学校経営目標	①幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1)言語力と確かな学力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4	45	昨年度の評価点「3.1」から「3.4」に上昇した。本校の各学部の発達段階におけるコミュニケーション手段や方法についての共通理解を全職員で行ったことがその要因といえる。今後も全職員が共通した認識の下、確かな日本語の習得に向けて取り組んでいきたい。
	3	52	
	2	3	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	41	
	3	58	
	2	2	
	1	0	
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	56	
	3	44	
	2	0	
	1	0	
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.3)	4	33	平均評価点「3.2」以上の基準をクリアしているが、一部の学部で低評価が見られた。保護者からも同様の意見も見られる。読書活動や、新聞を活用した教育の実践を更に進めるとともに、取組については保護者に情報提供を行っていく必要がある。
	3	61	
	2	6	
	1	0	
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.2)	4	27	平均評価点「3.2」以上の基準をクリアしているが、全項目で一番低い評価点であった。中学部、高等部において低評価が見られた。特に家庭との連携に課題があると思われる。家に持ち帰っての活用について、アプリの整備や家庭と連携して活用推進について取り組んでいく必要がある。
	3	66	
	2	8	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	38	
	3	63	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.7)	4	67	職員の評価とは異なり、一部の学部の生徒及び保護者から低評価が見られた。子供たちの訴えや情報を正確につかみ、迅速な対応に努めるとともに、保護者と連携した取組を行っていく。また、日頃から職員が子供たちの人権意識を意識した対応に努め、保護者や子供たちが安心して過ごせる学校を目指す。
	3	33	
	2	0	
	1	0	
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.5)	4	53	
	3	44	
	2	3	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	48	
	2	2	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	

(3)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.4)	4	39		○
	3	58		
	2	3		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	31		○
	3	67		
	2	2		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.4)	4	44	各学部とも評価基準の「3.0」はクリアしているものの、一部の学部の保護者の評価が低かった。面談等で保護者のニーズを把握し、情報提供に心掛けていく。また、職場実習や見学等、キャリア教育に関する取組を、保護者に情報提供していく。	○
	3	55		
	2	2		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.5)	4	53	職員の評価とは異なり、一部の学部の学部の保護者から低評価が見られた。参加しやすい日程調整や、早目の情報提供を試みているものの、参加者増にはつながっておらず、参加者も固定化されている。PTA役員と連携して多くの会員の皆さんに参加してもらえよう工夫していく。	○
	3	47		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.7)	4	66		◎
	3	34		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	47		○
	3	53		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	72		◎
	3	28		
	2	0		
	1	0		
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.7)	4	65		◎
	3	35		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.6)	4	61		○
	3	39		
	2	0		
	1	0		
(7)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	61		○
	3	39		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	58		
	2	2		
	1	0		

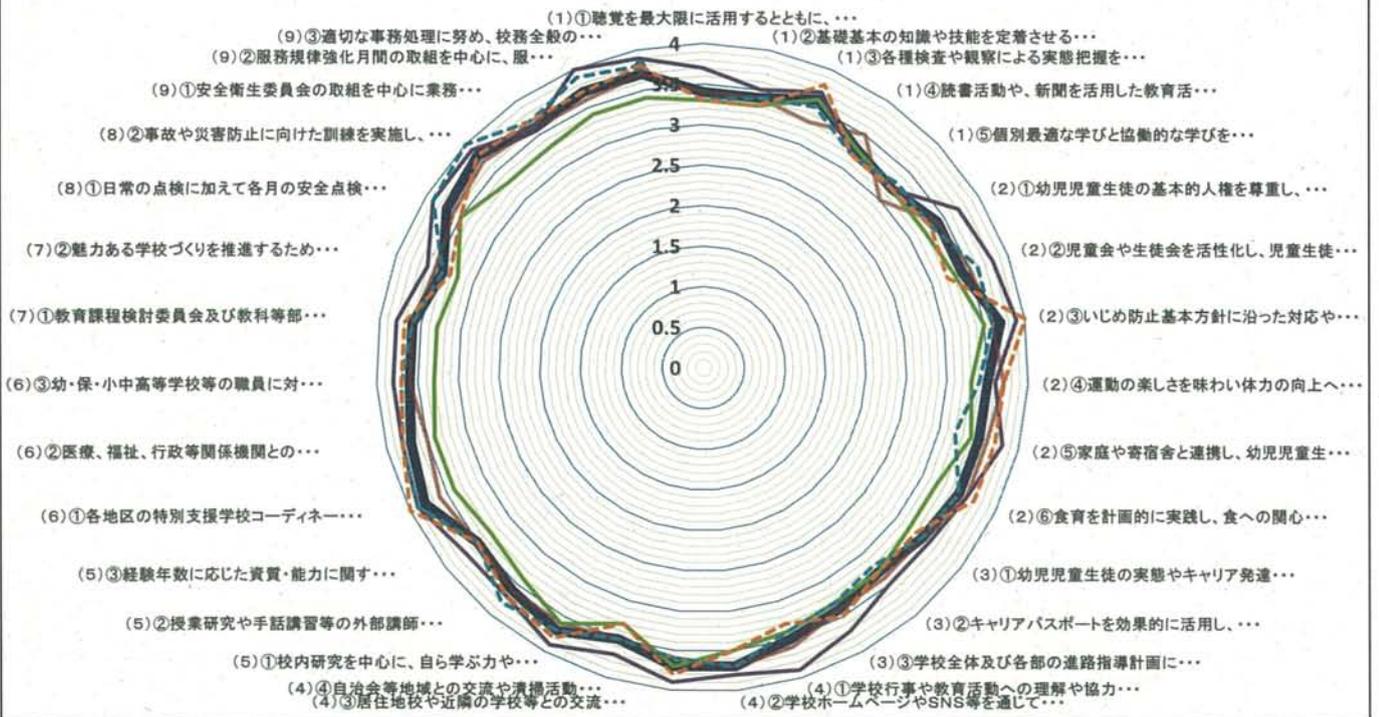
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.7)	4	73		○
	3	27		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	77		◎
	3	23		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	59	昨年度の評価点「3.3」から「3.6」へと上昇した。県が推進している働き方改革が一人一人に浸透し、働き方改革が進んでいることがうかがえる。月当たりの超過勤務45時間以上の職員も大幅に減少している。今後も働きやすい職場を目指し働き方改革及びコンプライアンスの徹底に努めていきたい。	○
	3	39		
	2	2		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.7)	4	73		○
	3	27		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.7)	4	72		○
	3	28		
	2	0		
	1	0		

本校・分教室全



総括

— 全校平均 — 幼稚部 — 小学部 — 中学部 ●-- 高等部 - - - 分教室



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(幼稚部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。				
学校経営目標	①幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に関われ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。				
学部努力目標	①聴覚を最大限に活用するとともに、幼児一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図り、直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ②子供の発達年齢や生活年齢に応じ、子供自らが外界に関わりをもつような教育環境を教師が意図的に提供し、体験を通して人間形成の基礎を培う。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育環境の充実を図る。				
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかというと達成されていない 1 : ほとんど達成されていない					
目標達成のための主な取組		点数	評価 %	今後に向けての課題	到達度 十分達成◎ 概ね達成○ 課題あり△
(1) 言語力と確かな学力の育成					
①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4	50	保護者からの評価は、4.0であり、教師も昨年度より0.3ポイント上がっていた。全日叢研に向けて、「よく見、よく聞き」の支援を学部全体で考え実践してきたことの成果だと考える。	○	
	3	40			
	2	10			
	1	0			
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	40		○	
	3	60			
	2	0			
	1	0			
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	30		○	
	3	70			
	2	0			
	1	0			
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.5)	4	50		○	
	3	50			
	2	0			
	1	0			
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.0)	4	10	保護者の評価も3.0であった。幼稚部のタブレット活用は、教師側からの教材提供がほとんどである。教師の評価も昨年度同様、3.0であり、理由が未記入のため学部会で意見を出し合い改善策を考えていきたい。	○	
	3	80			
	2	10			
	1	0			
(2) 個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	40		○	
	3	60			
	2	0			
	1	0			
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.5)	4	50		○	
	3	50			
	2	0			
	1	0			
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○	
	3	40			
	2	0			
	1	0			
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.7)	4	70		◎	
	3	30			
	2	0			
	1	0			
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○	
	3	40			
	2	0			
	1	0			
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.6)	4	60		○	
	3	40			
	2	0			
	1	0			

(3)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実を努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながらろう学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
(7)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	60	昨年度3.1の評価から0.5ポイント上昇した。引き続きも業務の Slim 化を目指すとともに、幼稚部全職員で協力しあっている。	○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		

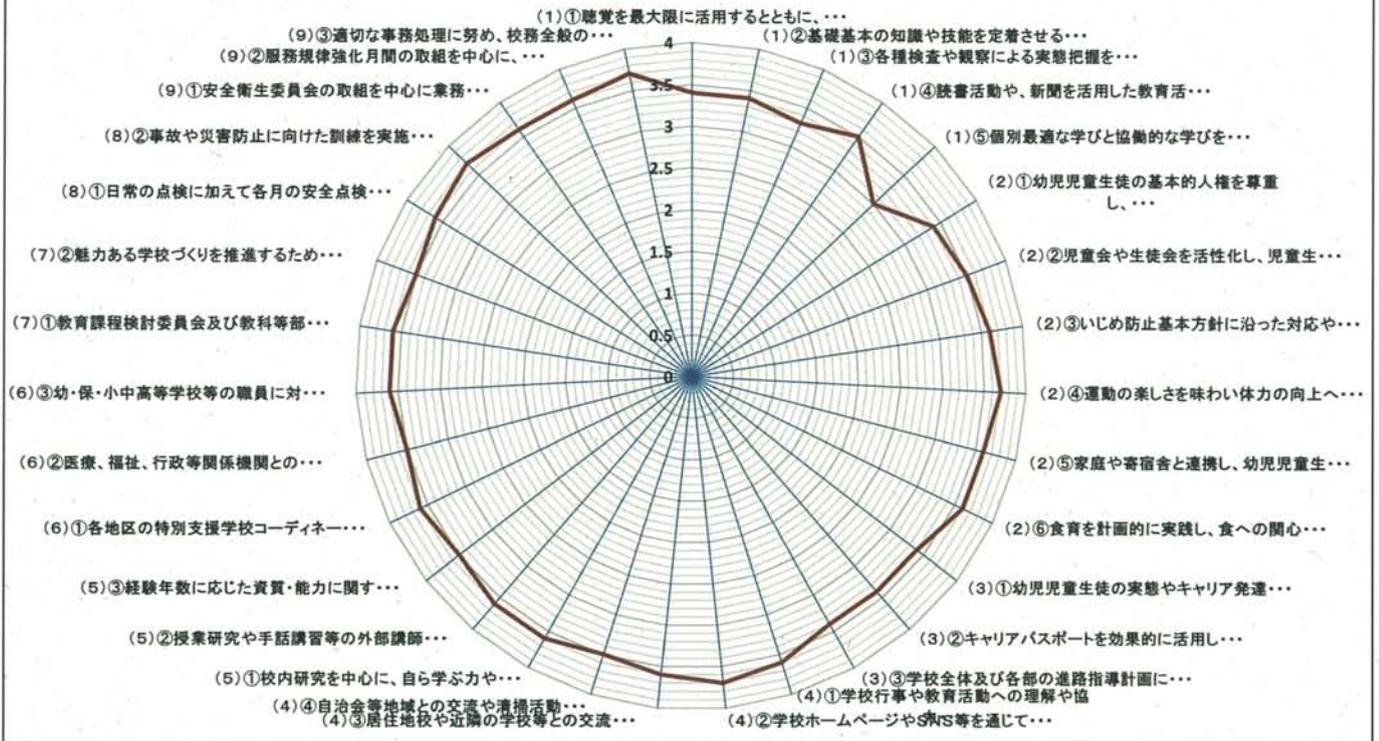
令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 7人/ 8人 回収率 88 %

(幼 稚) 部

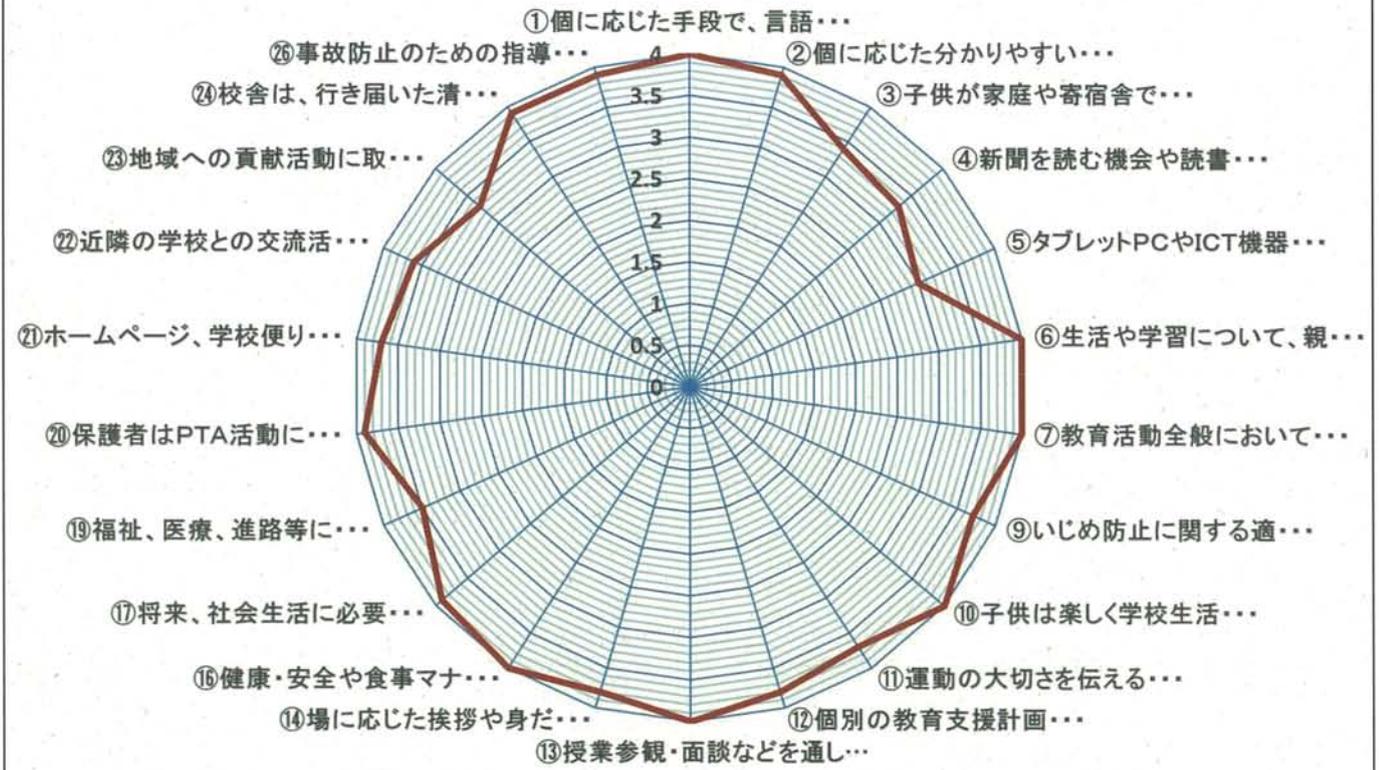
評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評 価 %				評価
		4	3	2	1	
言語力と確かな学力の育成						
1	個に応じた手段で、言語力やコミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0
2	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	86%	14%			3.9
3	子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	57%	29%	14%		3.4
4	新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	43%	43%	14%		3.3
5	タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。	29%	57%		14%	3.0
個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成						
6	生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	100%				4.0
7	教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	100%				4.0
8	寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
9	いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	67%	33%			3.7
10	子供は楽しく学校生活を送っている。	100%				4.0
11	運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	67%	33%			3.7
12	個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	83%	17%			3.8
13	授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0
14	場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	83%	17%			3.8
15	寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
16	健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	100%				4.0
キャリア教育の充実						
17	将来、社会生活に必要なマナーやルールなどついて、子供に応じて指導がなされている。	86%	14%			3.9
18	高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
19	福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	67%	17%	17%		3.5
関係機関や地域・保護者との連携強化						
20	保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	86%	14%			3.9
21	ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	71%	29%			3.7
22	近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	71%	14%	14%		3.6
23	地域への貢献活動に取り組んでいる。	43%	43%	14%		3.3
施設・設備の整備と教育環境の充実						
24	校舎は、行き届いた清掃、安心安全な環境整備がされている。	86%	14%			3.9
25	寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
26	事故防止のための指導や災害などの緊急時に備えた適切な配慮がなされている。	86%	14%			3.9
【自由記述】						
特になし						
【成果と今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・教師が「言語力やコミュニケーション力を高めるための指導」に力を入れて取り組んだことが、保護者から高評価をいただくこととなった。今後も相談体制を維持し保護者と連携をしながら指導にあたっていく。 ・幼稚部段階では、教材を提示したり写真や動画を使って振り返りを行う場合にタブレットPCやICT機器を活用している。教師と具体物を使ってのやり取りを重視しているが、今後の活用については学部で話し合っていきたい。 ・絵本の読み聞かせを教室だけでなく、毎月学部全体でも行い、その後、再現遊びを実施している。子供たちは、活動を楽しみにしているので今後も継続していく。 						

幼稚部職員



幼稚部保護者



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(小学部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。		
学校経営目標	①幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を捉えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①一人一人の児童の実態に応じた指導の充実に努め、聴覚を最大限に活用し、コミュニケーション力を高めるとともに、確かな日本語の習得と学力向上を目指し、生きる力の基礎を培う。 ②人権教育や道徳教育を推進し、一人一人の個性の伸長と豊かな人間性の育成に努めるとともに、積極的に体を動かし体力の向上を目指す。 ③自ら立てた目標に向かった役割を果たしたりする中で、社会的・職業的自立に向けた個々のキャリア発達を支援する。 ④関係機関や地域・保護者との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ⑤授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の協働体制を高める。 ⑥児童を中心とした教育相談・支援機能の充実に努め、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1)言語力と確かな学力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	33 67 0 0	○
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	33 67 0 0	○
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	58 42 0 0	○
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	25 75 0 0	○
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	17 83 0 0	○
(2)個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	17 83 0 0	○
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	25 75 0 0	○
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 50 0 0	○
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	33 67 0 0	○
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	42 58 0 0	○
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	17 83 0 0	○

到達度
十分達成◎
概ね達成○
課題あり△

(3)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながらろう学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
(7)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		

令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 10人/ 10人 回収率 100%
(小 学) 部

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

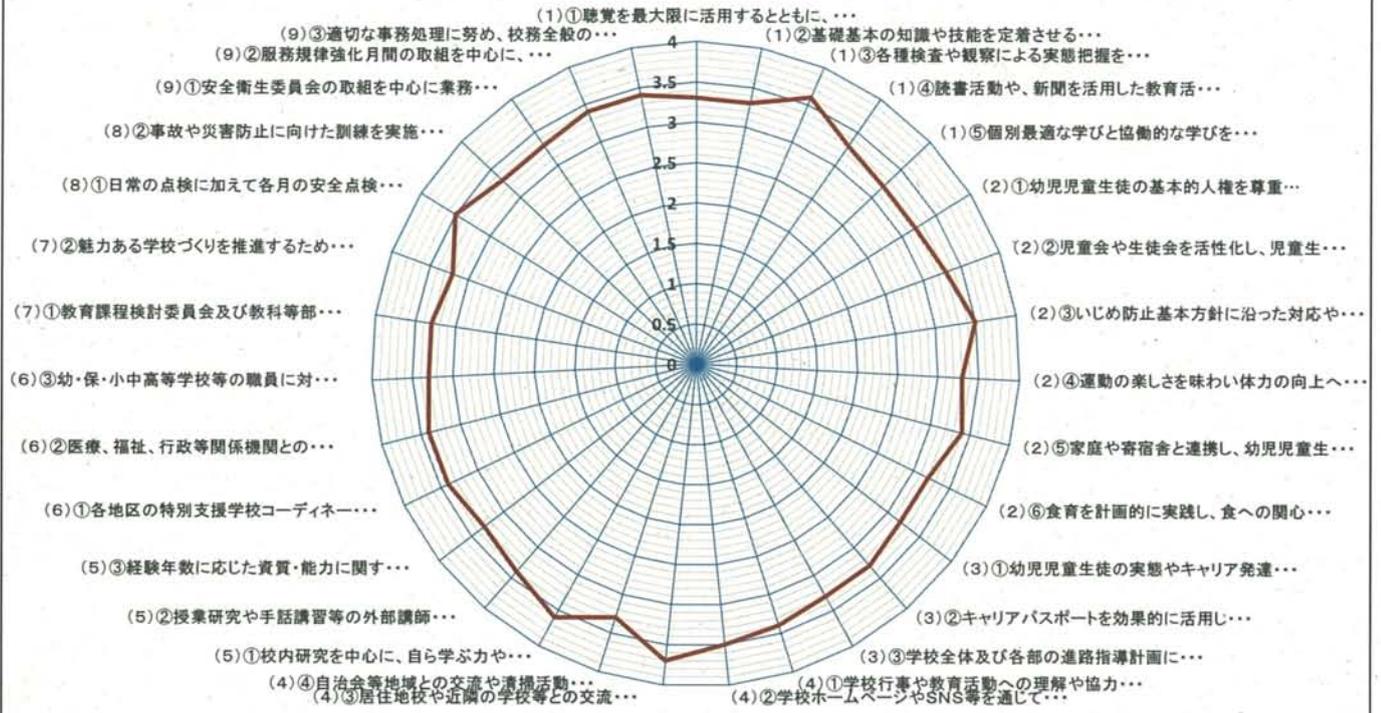
具体的評価内容	評価%				評価
	4	3	2	1	
言語力と確かな学力の育成					
1 個に応じた手段で、言語力やコミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	80%		10%	10%	3.5
2 個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	80%	10%	10%		3.7
3 子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	90%	10%			3.9
4 新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	50%	40%		10%	3.3
5 タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。	44%	56%			3.4
個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
6 生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	80%	10%		10%	3.6
7 教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	80%		20%		3.6
8 寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
9 いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	29%	29%	43%		2.9
10 子供は楽しく学校生活を送っている。	67%	22%	11%		3.6
11 運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	50%	38%	13%		3.4
12 個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	78%	22%			3.8
13 授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	78%	22%			3.8
14 場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	78%	11%	11%		3.7
15 寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
16 健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	67%	11%	22%		3.4
キャリア教育の充実					
17 将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	70%	10%	20%		3.5
18 高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
19 福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	60%	20%	20%		3.4
関係機関や地域・保護者との連携強化					
20 保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	56%	22%	22%		3.3
21 ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	80%	20%			3.8
22 近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	80%	10%	10%		3.7
23 地域への貢献活動に取り組んでいる。	63%	13%	25%		3.4
施設・設備の整備と教育環境の充実					
24 校舎は、行き届いた清掃、安心安全な環境整備がされている。	50%	50%			3.5
25 寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
26 事故防止のための指導や災害などの緊急時に備えた適切な配慮がなされている。	70%	10%	20%		3.5
【自由記述】					
<ul style="list-style-type: none"> ・名札を布製品のものにしてほしい。 ・インスタグラムをはじめホームページの取り扱いについては再度確認をし、しっかり管理してほしい。 ・我が子は学校に行くのを楽しみにしています。ほとんどの先生が障害をもち理解力が乏しいことがあっても暖かく人権を尊重して接し、指導してくださっていると思います。しかし、残念ながら一部の方の言動で心が傷ついた児童がいると聞きました。とても心配しています。 ・先生によっては個に応じた手段で分かりやすい授業の工夫、コミュニケーションが図れていないことを感じる。家庭と学校の情報の連携の取り方や共有の方法など、改善していただきたい。 					
【成果と今後の課題】					
<ul style="list-style-type: none"> ・全項目において概ね高評価を得ている。コミュニケーション力を高めると共に学習の基礎基本の力を身に付け、思考を深められるような授業を今後も工夫していきたい。 ・寄宿舎の項目については、どれも達成できている。引き続き、舎の職員との連携を密にとり、情報交換をしていきたい。 ・児童の評価項目「いじめがなく、楽しい雰囲気である」は3.9であったが、保護者の評価とかなりの差がある。保護者が感じられていることを懇談などで聞き取る機会を積極的に設け、信頼される学校、学部となるように努めていきたい。 ・聴覚障害の子供たちの理解を進めるために、継続して研修を行うことと併せて、教師同士がコミュニケーションを取り合っていて互いの授業や指導について話し合える場を設ける。 					

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

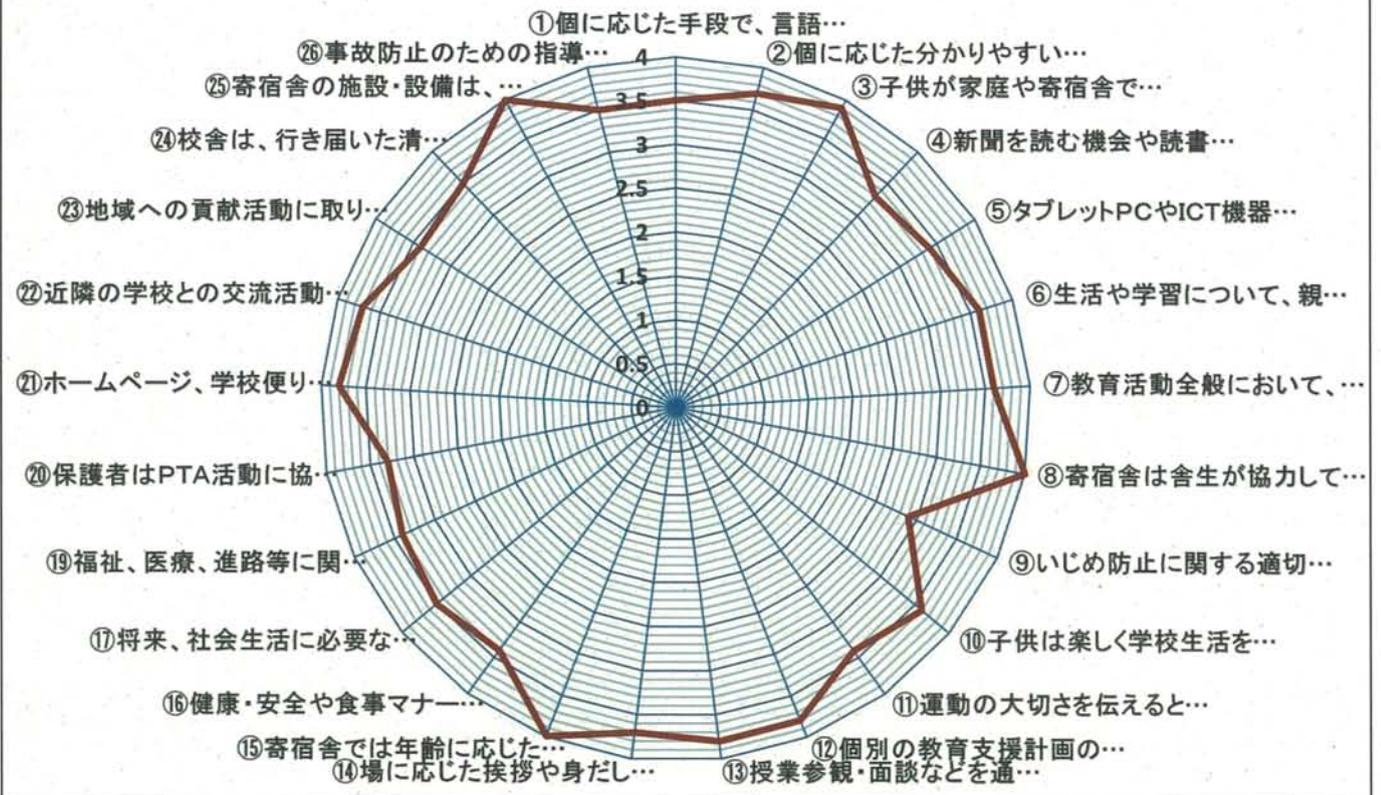
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価点
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	86%	14%			3.9
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	86%	14%			3.9
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	86%	14%			3.9
4	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	86%	14%			3.9
5	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	100%				4.0
6	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	71%	29%			3.7
7	先生は、私の良いところをほめてくれる	71%	29%			3.7
8	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	71%	29%			3.7
9	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	71%	29%			3.7
10	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)		100%			3.9
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	86%	14%			3.9
12	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	86%	14%			3.9
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	100%				4.0
14	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	71%	29%			3.7
15	先生は、いろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	86%	14%			3.9
16	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	/	/	/	/	/
17	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	100%				4.0
18	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	100%				4.0
19	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	100%				4.0
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	86%	14%			3.9
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	100%				4.0
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)					
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	100%				4.0
【自由記述】						
特になし						
【成果と今後の課題】						
全項目とも、「3.7」以上の非常に高い評価点となった。今後とも、児童との信頼関係をベースに日々の教育活動を推進していきたい。						

小学部職員



小学部保護者



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(中学部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。				
学校経営目標	①幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。				
学部努力目標	①聴覚活用を基本に生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、言語力の拡充を図る。 ②言語力と学力を高めるとともに、生徒一人一人が社会自立、職業自立を目指し、主体的に自己実現を図っていく能力や態度を育てる。 ③保護者や関係機関との連携を深め、関係者からの意見を学部経営に生かす。 ④授業研究や専門性を高める研修を行い、指導力の向上を図る。 ⑤小・中学生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥施設・設備の整備を進めるとともに、教育環境の充実を図る。				
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない					
目標達成のための主な取組		点数	評価 %	今後に向けての課題	到達度 十分達成◎ 概ね達成○ 課題あり△
(1) 言語力と確かな学力の育成					
①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.7)	4	69	◎		
	3	31			
	2	0			
	1	0			
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.5)	4	46	○		
	3	54			
	2	0			
	1	0			
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	69	◎		
	3	31			
	2	0			
	1	0			
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.2)	4	46	○	自立活動や特別活動の一部で活用することはあるが、機会を増やすまでは至らない。休み時間や長期休業日を利用して、読書や新聞に触れる機会を増やせるよう、声掛けを行っていき	
	3	31			
	2	23			
	1	0			
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.2)	4	31	○	校内では、ICT機器を活用した授業も増えてきたが、家庭との連携という点では不十分である。今後、学部で検討していきたい。	
	3	54			
	2	15			
	1	0			
(2) 個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.7)	4	69	◎		
	3	31			
	2	0			
	1	0			
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.8)	4	85	◎		
	3	15			
	2	0			
	1	0			
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.9)	4	92	◎		
	3	8			
	2	0			
	1	0			
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.6)	4	62	○		
	3	38			
	2	0			
	1	0			
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.8)	4	85	◎		
	3	15			
	2	0			
	1	0			
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.6)	4	62	○		
	3	38			
	2	0			
	1	0			

(3) キャリア教育の充実				
① 幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.5)	4	62	高等部、小学部との縦のつながりを考え、中学部段階で何を学ばせるのかをしっかりと考え、これからのキャリア教育全体計画の見直しを行っていきたい。	○
	3	31		
	2	8		
	1	0		
② キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.5)	4	46		○
	3	54		
	2	0		
	1	0		
③ 学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.7)	4	69		◎
	3	31		
	2	0		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
① 学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
② 学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.8)	4	85		◎
	3	15		
	2	0		
	1	0		
③ 居住地域や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
④ 自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.7)	4	69		◎
	3	31		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
① 校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
② 授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	69		◎
	3	31		
	2	0		
	1	0		
③ 経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.7)	4	69		◎
	3	31		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
① 各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
② 医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.8)	4	77		◎
	3	23		
	2	0		
	1	0		
③ 幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.8)	4	77		◎
	3	23		
	2	0		
	1	0		
(7) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
① 教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.8)	4	85		◎
	3	15		
	2	0		
	1	0		
② 魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.6)	4	62		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	69	職員の業務の偏りがないか、また、削減できるものはないかを考えながら、職場環境の整備に当たっていきたい。	○
	3	23		
	2	8		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 4.0)	4	100		◎
	3	0		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価%				評価
	4	3	2	1	
言語力と確かな学力の育成					
1 個に応じた手段で、言語力やコミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	56%	44%			3.6
2 個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	44%	56%			3.4
3 子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	63%	25%	13%		3.5
4 新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	44%	11%	33%	11%	2.9
5 タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。	56%	33%	11%		3.4
個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
6 生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	44%	56%			3.4
7 教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	44%	56%			3.4
8 寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
9 いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	67%	33%	11%		3.4
10 子供は楽しく学校生活を送っている。	56%	22%	22%		3.3
11 運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	56%	44%			3.6
12 個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	44%	56%			3.4
13 授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	67%	33%			3.7
14 場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	56%	44%			3.6
15 寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
16 健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	56%	33%	11%		3.4
キャリア教育の充実					
17 将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	44%	56%			3.4
18 高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)					
19 福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	22%	56%	22%		3.0
関係機関や地域・保護者との連携強化					
20 保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	22%	56%	11%	11%	2.9
21 ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	44%	56%			3.4
22 近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	44%	56%			3.4
23 地域への貢献活動に取り組んでいる。	44%	33%	22%		3.2
施設・設備の整備と教育環境の充実					
24 校舎は、行き届いた清掃、安心安全な環境整備がされている。	67%	33%			3.7
25 寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
26 事故防止のための指導や災害などの緊急時に備えた適切な配慮がなされている。	56%	44%			3.6
【自由記述】					
特になし					
【成果と今後の課題】					
・新聞や図書を活用については、自立活動や特別活動の一部で活用することはあるが、機会を増やすまでには至っていないので、休み時間や長期休業日を利用して、読書や新聞に触れる機会を増やせるように声掛けを行っていききたい。 ・ICT機器を活用した授業も増えてきたが、家庭との連携という点では不十分であるので、今後、学部で検討していきたい。 ・保護者が毎日安心して生徒を学校に送り出せるように、楽しい雰囲気のある学校づくりに向けて努力していきたい。 ・福祉、医療、進路等に関する情報提供については、学校と家庭の連携には欠かせないものであるため、今後も保護者のニーズに答えられるように対応していきたい。 ・PTA活動は、たくさんの企画を行っている。地域のクリーンアップ作戦など地域貢献できる活動もあるので、ぜひ参加していただきたい。					

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価点
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	67%	22%		11%	3.4
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	56%	33%	11%		3.4
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	56%	33%		11%	3.3
4	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	44%	22%	33%		3.1
5	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	78%	22%			3.8
6	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	44%	22%	11%	22%	2.9
7	先生は、私の良いところをほめてくれる	56%	44%			3.6
8	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	67%	11%	22%		3.4
9	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	67%	22%	11%		3.6
10	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	100%				4.0
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	33%	44%		22%	2.9
12	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	56%	44%			3.6
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	67%	11%	11%	11%	3.3
14	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	56%	44%			3.6
15	先生は、いろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	67%	11%	11%	11%	3.3
16	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	67%	17%		17%	3.3
17	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	78%	11%		11%	3.6
18	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	67%	22%	11%		3.6
19	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	78%	22%			3.8
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	56%	33%		11%	3.3
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	89%	11%			3.9
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	100%				4.0
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	89%	11%			3.9

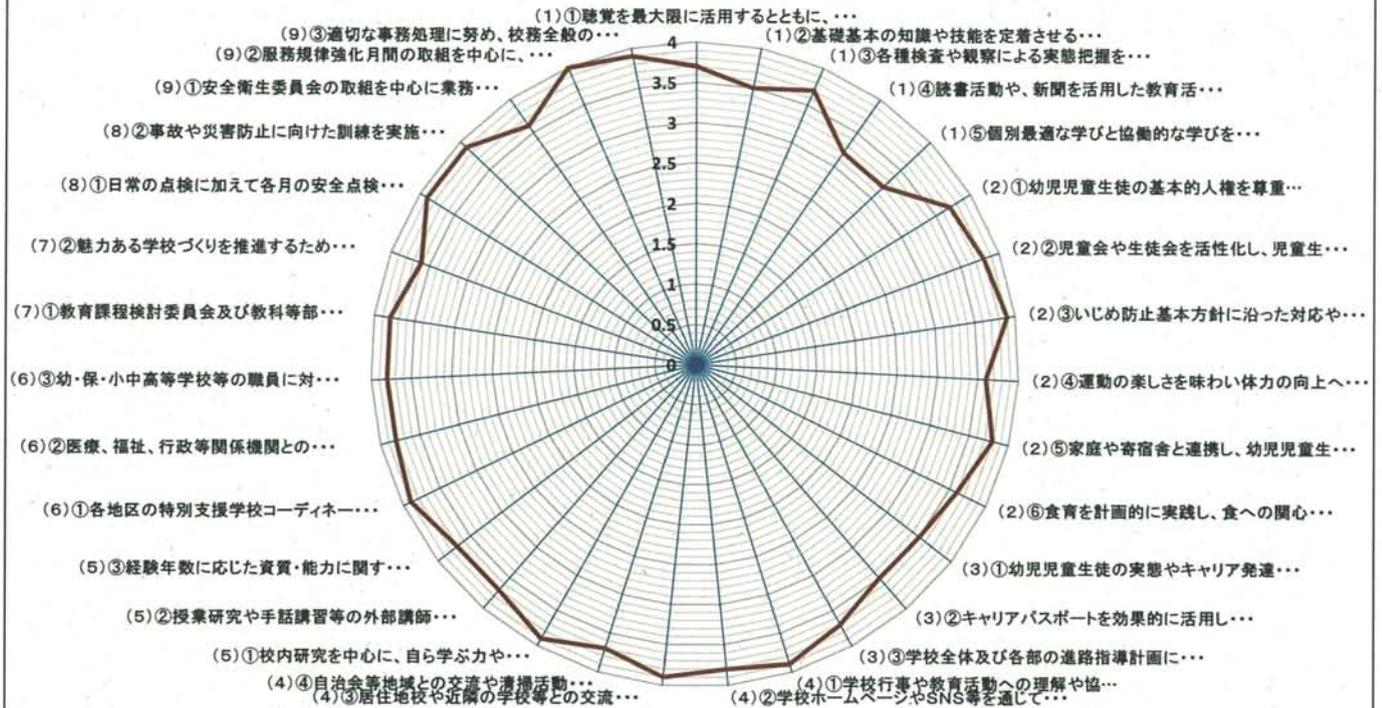
【自由記述】

図書の本を借りたいときに、貸し出し・返却のアプリをどれを開けばよいのかが分かりません。アプリのパスワードが必要であれば、パスワードも教えていただくと助かります。そしたら、借りたいときに借りられると思います。

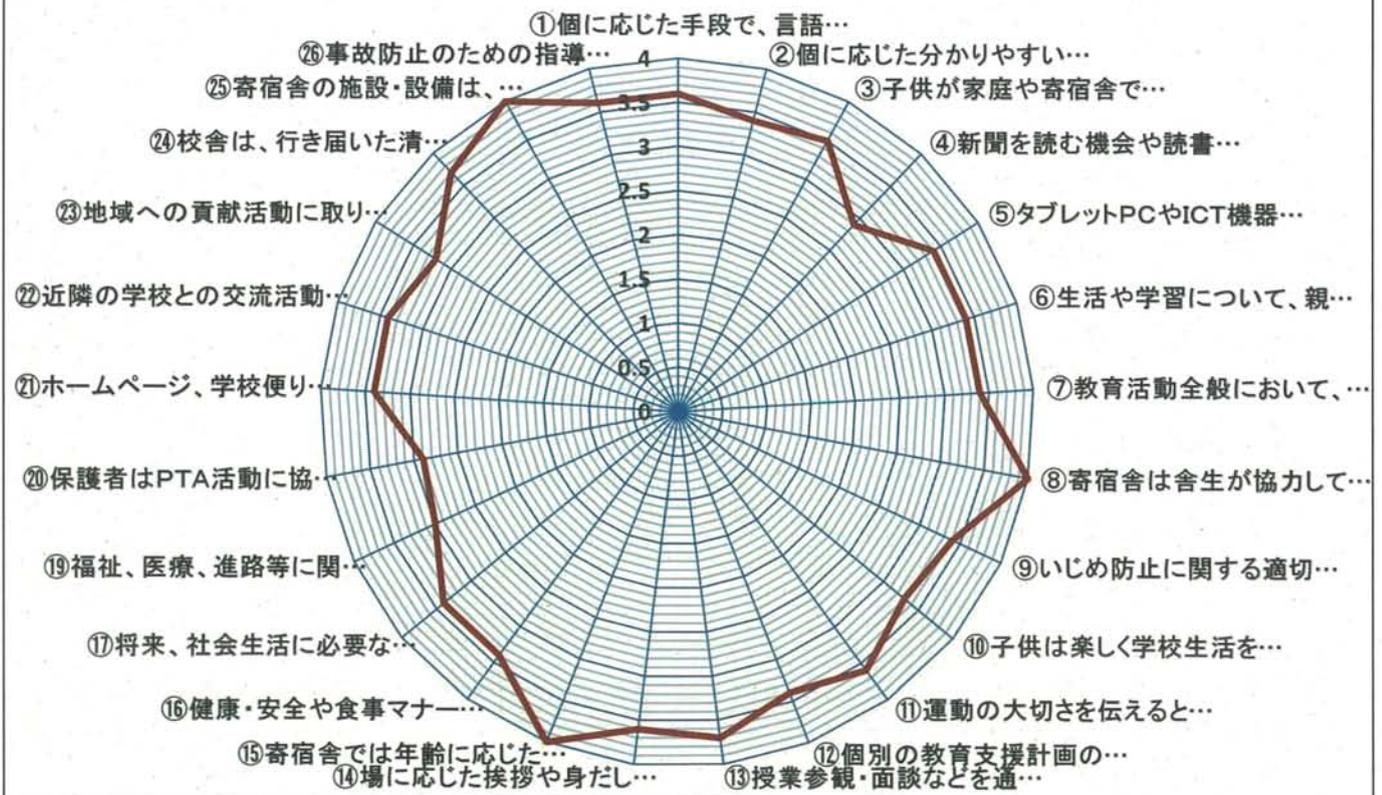
【成果と今後の課題】

- ・自由記述の内容の件については、記入日の翌日、図書担当の職員から回答済み。
- ・生徒とのコミュニケーションや授業の進め方、相談等については、しっかりと生徒と向き合っており、それぞれの生徒のニーズに合わせた対応をしていきたい。
- ・家庭学習は少しずつ定着してきたが、まだ、やり方が分からない生徒や、好きな教科、苦手な教科で選り好みをする生徒もいるので、継続して指導していきたい。
- ・パソコンやタブレットPCを利用した学習はかなり行っているが、パソコンやタブレットPCを自由に使用したい生徒がいるので、きちんとルールを守って使用するように指導している。
- ・いじめのない楽しい学校づくりという点では、生徒たちが毎日安心して学校生活を送れるように、学部全体で生徒の様子や行動に細心の注意を払うなど努力していきたい。
- ・マナーやルールについては、まだ理解が不十分な生徒もいるので、なぜ守る必要があるのかを、いろいろな活動を通して教えていきたい。
- ・進路指導については、早い段階から本人や保護者の意向を聞きながら、連携して進めていきたい。

中学部職員



中学部保護者



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(高等部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。
学校経営目標	①幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能を充実を図る。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。
学部努力目標	①生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、コミュニケーション力や言語力の向上に努め、互いの意思や考えを伝え合う力を高める。 ②生徒の学力に応じて、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、キャリア教育に基づいた教育活動を展開し、一般・社会常識の定着や勤労観・職業観の確立を目指す。 ③保護者及び関係機関、地域との連携を図り、高等部の教育活動への理解を深める。 ④高等部は生きる力を育むことのできる最後の教育機関であることの自覚と責任をもち、専門性及び指導力の向上を目指す。 ⑤中・高校生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥部管轄の施設・設備の整備と学習環境の充実に努める。

4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかというと達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

到達度
十分達成◎
概ね達成○
課題あり△

目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題	
--------------	----	---------	-----------	--

(1) 言語力と確かな学力の育成

①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.3)	4	38	評価点は、昨年度より0.3ポイント上がり、職員の取組の成果は上がっている。確かな日本語の習得に向けてさらに具体的な取組を進め、全職員が「3」以上の評価になるよう努めたい。	○
	3	57		
	2	5		
	1	0		
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	43	探究的な学習、協働的な学習についても、検討する時間を設定し、全職員が「3」以上の評価になるよう取組を継続していきたい。	○
	3	52		
	2	5		
	1	0		
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.5)	4	52		○
	3	48		
	2	0		
	1	0		
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.2)	4	29	各学年や各教科での読書活動、新聞を活用した教育活動がどのくらい行われているのか全職員で確認し合い、今後の対策を考えていきたい。	○
	3	67		
	2	5		
	1	0		
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.3)	4	38	ICT機器を活用した指導、支援には、学校・学部として力を入れて取り組んでいるが、家庭との連携の部分で課題と感じている職員がいるようである。これについても、家庭学習の中でICT機器をどのくらい活用しているのか全職員で確認し合い、今後の対策を考えていきたい。	○
	3	52		
	2	10		
	1	0		

(2) 個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成

①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.6)	4	57		○
	3	43		
	2	0		
	1	0		
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	57		○
	3	43		
	2	0		
	1	0		
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4	52	体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進については、例年どおり取組を進めてきた。全職員で課題を確認し合い、今後の対策を考えていきたい。	○
	3	38		
	2	10		
	1	0		
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.2)	4	29	家庭や寄宿舎との連携で課題を感じている職員がいた。保護者と学校との連携、基本的な生活習慣の指導等に係る項目の保護者の評価点は、「3.5」以上と高いので、どのようなことが課題か確認し合い、今後の対策を考えていきたい。	○
	3	67		
	2	5		
	1	0		
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4	52		○
	3	48		
	2	0		
	1	0		

(3)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.4)	4	43	昨年度上がった評価点が、今年度若干下がっている。キャリア教育全体計画の見直し、キャリア教育の実践や評価に継続的に取り組む必要がある。	○
	3	52		
	2	5		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.2)	4	24	昨年度上がった評価点が、今年度若干下がっている。キャリアパスポートを効果的に活用した指導に継続的に取り組む必要がある。	○
	3	71		
	2	5		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	38	昨年度上がった評価点が、今年度若干下がっている。進路指導計画の確認、キャリア教育全体計画と関連させた進路指導に継続的に取り組む必要がある。	○
	3	57		
	2	5		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	43		○
	3	57		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	62		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	52		○
	3	48		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	71		◎
	3	29		
	2	0		
	1	0		
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.8)	4	76		◎
	3	24		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.9)	4	86		◎
	3	14		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながらろう学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.7)	4	71		◎
	3	29		
	2	0		
	1	0		
(7)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	62		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.4)	4	43	学科改編については、今年度はまだ一部の職員が進めている段階で、全職員に情報を下ろして協議するまでには至っていない。今後、情報を流して協議を進めていきたい。	○
	3	52		
	2	5		
	1	0		

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.9)	4	86		◎
	3	14		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 4.0)	4	95		◎
	3	5		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.9)	4	86		◎
	3	14		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	76		◎
	3	24		
	2	0		
	1	0		

令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 10人/ 10人 回収率 100%
(高等)部

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価%				評価
	4	3	2	1	
言語力と確かな学力の育成					
1 個に応じた手段で、言語力やコミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	60%	40%			3.6
2 個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	60%	40%			3.6
3 子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	40%	60%			3.4
4 新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	30%	60%	10%		3.2
5 タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。	30%	70%			3.3
個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
6 生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	50%	50%			3.5
7 教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	40%	60%			3.4
8 寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	67%	33%			3.7
9 いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	40%	60%			3.4
10 子供は楽しく学校生活を送っている。	60%	30%	10%		3.5
11 運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	60%	40%			3.6
12 個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	70%	30%			3.7
13 授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	60%	40%			3.6
14 場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	56%	44%			3.6
15 寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	50%	50%			3.5
16 健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	50%	50%			3.5
キャリア教育の充実					
17 将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	60%	30%	10%		3.5
18 高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	50%	50%			3.5
19 福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	40%	30%	30%		3.1
関係機関や地域・保護者との連携強化					
20 保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	20%	50%	30%		2.9
21 ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	60%	40%			3.6
22 近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	50%	50%			3.5
23 地域への貢献活動に取り組んでいる。	40%	60%			3.4
施設・設備の整備と教育環境の充実					
24 校舎は、行き届いた清掃、安心安全な環境整備がされている。	50%	50%			3.5
25 寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	80%	20%			3.8
26 事故防止のための指導や災害などの緊急時に備えた適切な配慮がなされている。	60%	40%			3.6
【自由記述】					
特になし					
【成果と今後の課題】					
<p>・全項目の中で、昨年度の評価点より上がった項目が20項目(評価点が横ばい4項目、下がった項目が2項目)であった。特に、項目12「個別の教育支援計画の…」と項目21「ホームページ、学校便り…」については、評価点が「0.5」ずつ上がり、取組の成果を確認できた。</p> <p>・一方、項目20「保護者はPTA活動に…」は、昨年度より「0.2」評価点が上がったものの、「2.9」と、昨年引き続き基準となる評価点「3.0」以下となった。PTA行事を他の学校行事と同日に行い集まりやすい期日に設定したり、1か月以上前に案内文書を配付し周知したりしているが、参加者が固定され広がらない状況である。今後もPTA役員などと相談しながら参加者を増やす方策を考えたい。</p> <p>・項目19の「福祉、医療、進路等に関する…」については、昨年度より評価点が「0.2」上がり、基準となる評価点「3.0」以上を満たしたが、「2」の評価をされた保護者が3名もいた。保護者にどんな情報が欲しいのか確認しながら、面談等を通して情報提供に今後も努めていきたい。</p> <p>・他にも、項目4・10・17において、「2」の評価をされている保護者が1名ずついらっしまった。全保護者が、評価点「3」以上になるように取組を進めていきたい。</p>					

令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 10人 / 11人 回収率 91%

(高等)部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価点
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	40%	60%			3.4
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	70%	30%			3.7
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	70%	30%			3.7
4	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	30%	60%		10%	3.1
5	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	80%	20%			3.8
6	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	40%	40%	20%		3.2
7	先生は、私の良いところをほめてくれる	30%	60%	10%		3.2
8	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	50%			3.5
9	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	30%	60%	10%		3.2
10	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	17%	50%	17%	17%	2.7
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	80%	20%			3.8
12	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	40%		10%	3.3
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	60%	30%	10%		3.5
14	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	50%	20%	20%	10%	3.1
15	先生は、いろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	60%	30%	10%		3.5
16	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	50%	50%			3.5
17	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	40%	10%		3.4
18	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	30%	50%	20%		3.1
19	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	50%	50%			3.5
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	50%	40%	10%		3.4
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	80%	20%			3.8
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	71%	29%			3.7
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	80%	20%			3.8

【自由記述】

・手すりは常にきれいにした方が良い。

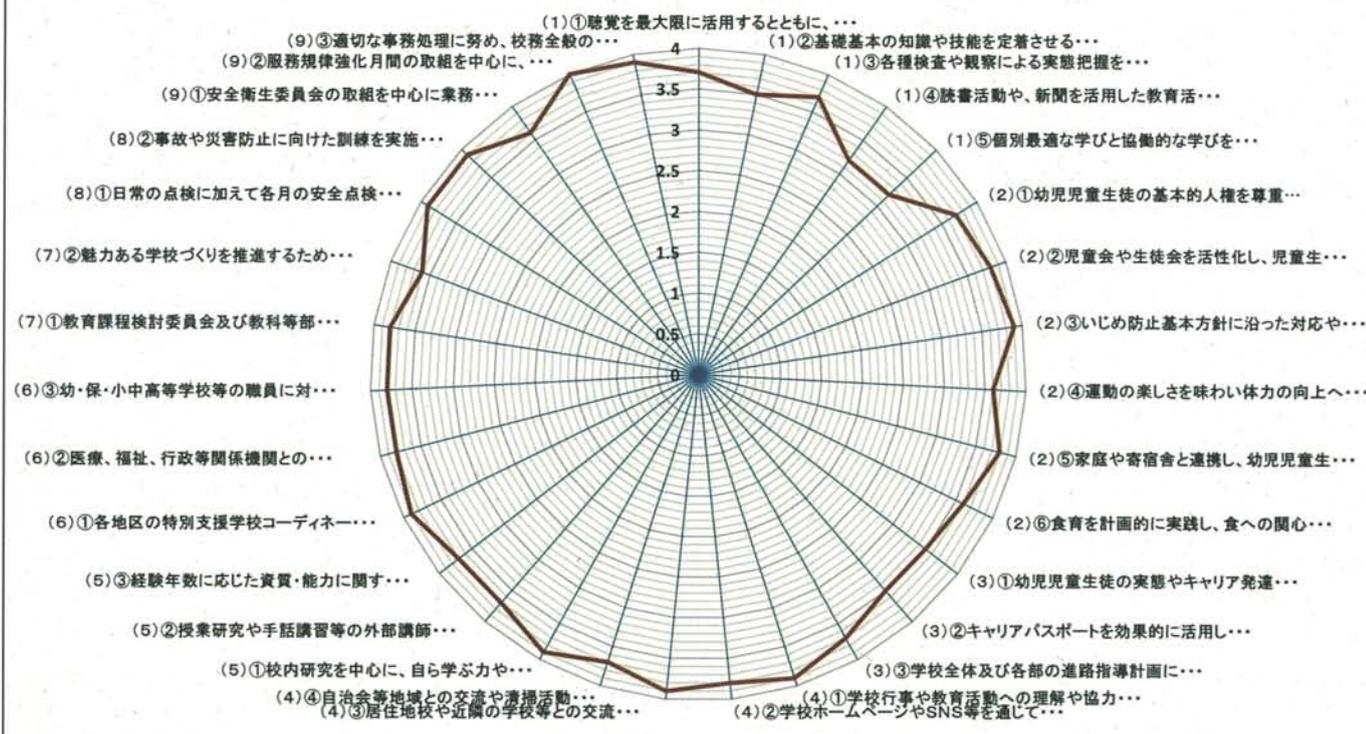
【成果と今後の課題】

・項目10「先生は、舎生会活動で…」において、基準となる評価点「3.0」を下回る「2.7」であった。寄宿舎にはこのことを伝え、対策を考えてもらうことにした。

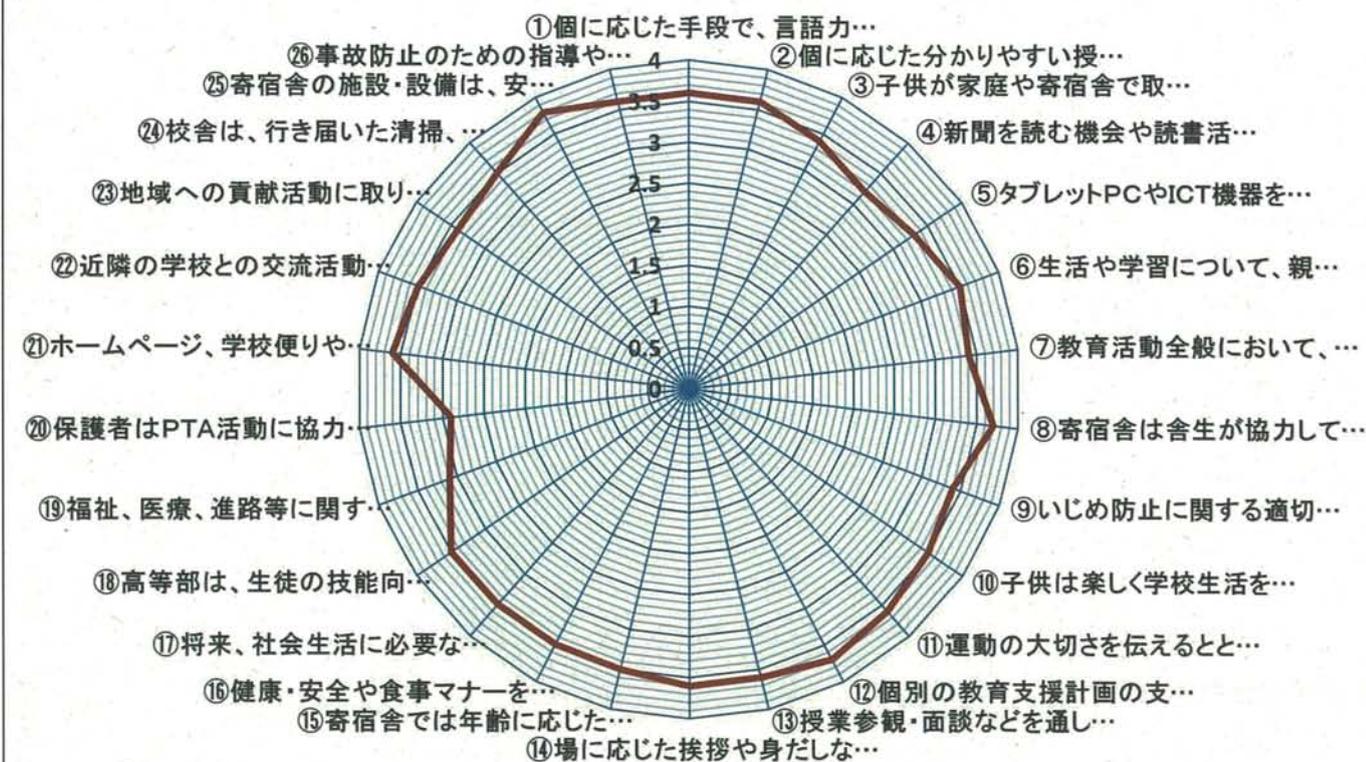
・昨年度の評価点が「2.9」であった項目9「先生は、児童会・生徒会で…」、「3.0」であった項目6「先生は、パソコンやタブレットPCを…」、項目19「清掃活動など地域に貢献…」においては、評価点が上がり、昨年度の反省を受けた改善の成果が確認できた。特に、項目19においては、「0.5」評価点が上がった。しかし、項目6においては、「2」の評価をしている生徒が2名いたので引き続き改善を図っていきたい。

・項目14「先生は、挨拶や服装…」と項目18「地域の学校との交流及び共同学習…」において、「2」以下の評価をした生徒が複数名いた。また、他の項目でも「2」以下の評価をした生徒が1名ずついた。自由記述がなかったので理由は分からないが、これらの項目においては、指導場面で生徒の反応を注意深く観察しながら指導を進めていきたいと考える。

高等部職員



高等部保護者



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(分教室)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。		
学校経営目標	①幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(1)言語力と確かな学力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、口話や手話、文字その他の視覚的情報を活用して個々の発達段階や場面に応じた言語活動を行うことにより、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4	38	○
	3	63	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	38	○
	3	63	
	2	0	
	1	0	
③各種検査や観察による実態把握をもとに個々の課題を明確にして改善を図るために、自立活動の指導計画の作成や指導実践の充実に努める。 (評価点 3.8)	4	75	◎
	3	25	
	2	0	
	1	0	
④読書活動や、新聞を活用した教育活動を推進することにより、豊かな感性を育てるとともに、言葉や情報に触れる機会を増やして広い知識を身に付けられるようにする。 (評価点 3.1)	4	13	・「新聞を活用した教育活動」について、方法を工夫しながら取り組めるよう、今後検討していきたい。
	3	88	
	2	0	
	1	0	
⑤個別最適な学びと協働的な学びを推進するために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.3)	4	25	・昨年より0.2ポイント下がっている。タブレットPCの活用や学習アプリなどについての情報提供など家庭との連携も併せて検討し、改善に努めていきたい。
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	25	○
	3	75	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会を活性化し、児童生徒が主体的に活動する機会を設定することにより、互いを認め合いながら協力して課題解決を図る態度を育成する。 (評価点 3.1)	4	13	・昨年より0.5ポイント下がっている。理由についての記載がないため、部会や分掌部会などで意見を聞きながら、改善できるところを探り、検討したい。
	3	88	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.9)	4	88	◎
	3	13	
	2	0	
	1	0	
④運動の楽しさを味わい体力の向上への意識を高めるよう、体育的活動や部活動の活性化、障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.5)	4	50	○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50	○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.6)	4	63	○
	3	38	
	2	0	
	1	0	

(3)キャリア教育の充実					
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じてキャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.3)	4	25	・昨年より0.2ポイント下がっている。理由についての記載がないため、部会や分掌部会などで意見を聞きながら改善策を検討したい。	○	
	3	75			
	2	0			
	1	0			
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	25		○	
	3	75			
	2	0			
	1	0			
③学校全体及び各部の進路指導計画に基づき、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○	
	3	50			
	2	0			
	1	0			
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化					
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.3)	4	25	・昨年より0.2ポイント下がっている。理由についての記載がないため、部会や分掌部会などで意見を聞いたり、保護者と相談しながら改善策を検討したい。	○	
	3	75			
	2	0			
	1	0			
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.6)	4	50		○	
	3	50			
	2	0			
	1	0			
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎	
	3	25			
	2	0			
	1	0			
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.3)	4	25		○	
	3	75			
	2	0			
	1	0			
(5)教職員の専門性及び指導力の向上					
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎	
	3	25			
	2	0			
	1	0			
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4	63		○	
	3	38			
	2	0			
	1	0			
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.4)	4	38	・昨年より0.3ポイント下がっている。理由についての記載がないため、部会や分掌部会などで意見を聞きながら改善策を検討したい。	○	
	3	63			
	2	0			
	1	0			
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実					
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンター的機能の役割を果たす。 (評価点 3.9)	4	88		◎	
	3	13			
	2	0			
	1	0			
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながらろう学校における早期教育について理解啓発を促すことで、難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	63		◎	
	3	38			
	2	0			
	1	0			
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、聴覚障害教育の理解・啓発や充実に努める。 (評価点 3.6)	4	63		○	
	3	38			
	2	0			
	1	0			
(7)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善					
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	63		○	
	3	38			
	2	0			
	1	0			
②魅力ある学校づくりを推進するために、高等部学科改編に取り組むとともに、各部の教育の特色や系統的な教育の効果について明確にする。 (評価点 3.3)	4	25		○	
	3	75			
	2	0			
	1	0			

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	63		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	63		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.6)	4	63		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		

令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 3人/ 3人 回収率 100% (分教室)

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価%				評価
	4	3	2	1	
言語力と確かな学力の育成					
1 個に応じた手段で、言語力やコミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0
2 個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	100%				4.0
3 子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	33%	67%			3.3
4 新聞を読む機会や読書活動の場面を設定している。	67%	33%			3.7
5 タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。	67%	33%			3.7
個性の伸長と豊かな人間性及び健やかな体の育成					
6 生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	100%				4.0
7 教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	100%				4.0
8 寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
9 いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	67%	33%			3.7
10 子供は楽しく学校生活を送っている。	100%				4.0
11 運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	100%				4.0
12 個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	100%				4.0
13 授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0
14 場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	100%				4.0
15 寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
16 健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	100%				4.0
キャリア教育の充実					
17 将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	100%				4.0
18 高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
19 福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	67%	33%			3.7
関係機関や地域・保護者との連携強化					
20 保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	33%	67%			3.3
21 ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	67%	33%			3.7
22 近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	100%				4.0
23 地域への貢献活動に取り組んでいる。	33%	67%			3.3
施設・設備の整備と教育環境の充実					
24 校舎は、行き届いた清掃、安心安全な環境整備がされている。	67%	33%			3.7
25 寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
26 事故防止のための指導や災害などの緊急時に備えた適切な配慮がなされている。	67%	33%			3.7
【自由記述】					
・記載なし					
【成果と今後の課題】					
・児童生徒数の減少により、昨年度との単純比較はできないが、おおむね高評価を得られた。しかし、3の「家庭での学習課題の提示」、20の「PTA活動」に関する項目が他より低い評価であった。家庭での学習課題については、宿題だけではなく、取り組んでほしい課題や学習アプリなどの情報提供をしていくことを検討し、改善に努めたい。20のPTA活動については、少ない人数なので、お互い無理のない範囲での活動を模索していくようにしたい。また、若干ではあるが、5の「タブレットPCやICT機器を活用した授業推進」の評価も下がっていたので、活用の一層の推進と授業でどのように使われているかを保護者に知ってもらえるような取組を今後していく。 ・昨年課題となっていた幼稚部の遊具については、今年度古い砂場を撤去し、新しい遊具が設置された。今後、ブランコなど既存の遊具の整備(再塗装など)を進めたい。					

令和7年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 2人 / 2人 回収率 100%

(分教室)

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価点
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	50%	50%			3.5
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	50%	50%			3.5
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	50%	50%			3.5
4	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
5	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	100%				4.0
6	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	100%				4.0
7	先生は、私の良いところをほめてくれる	100%				4.0
8	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	50%			3.5
9	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	100%				4.0
10	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	/	/	/	/	/
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	100%				4.0
12	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	50%			3.5
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
14	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	100%				4.0
15	先生は、いろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	100%				4.0
16	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	100%				4.0
17	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	50%			3.5
18	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	100%				4.0
19	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	50%	50%			3.5
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	50%	50%			3.5
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	50%	50%			3.5
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	/	/	/	/	/
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	100%				4.0

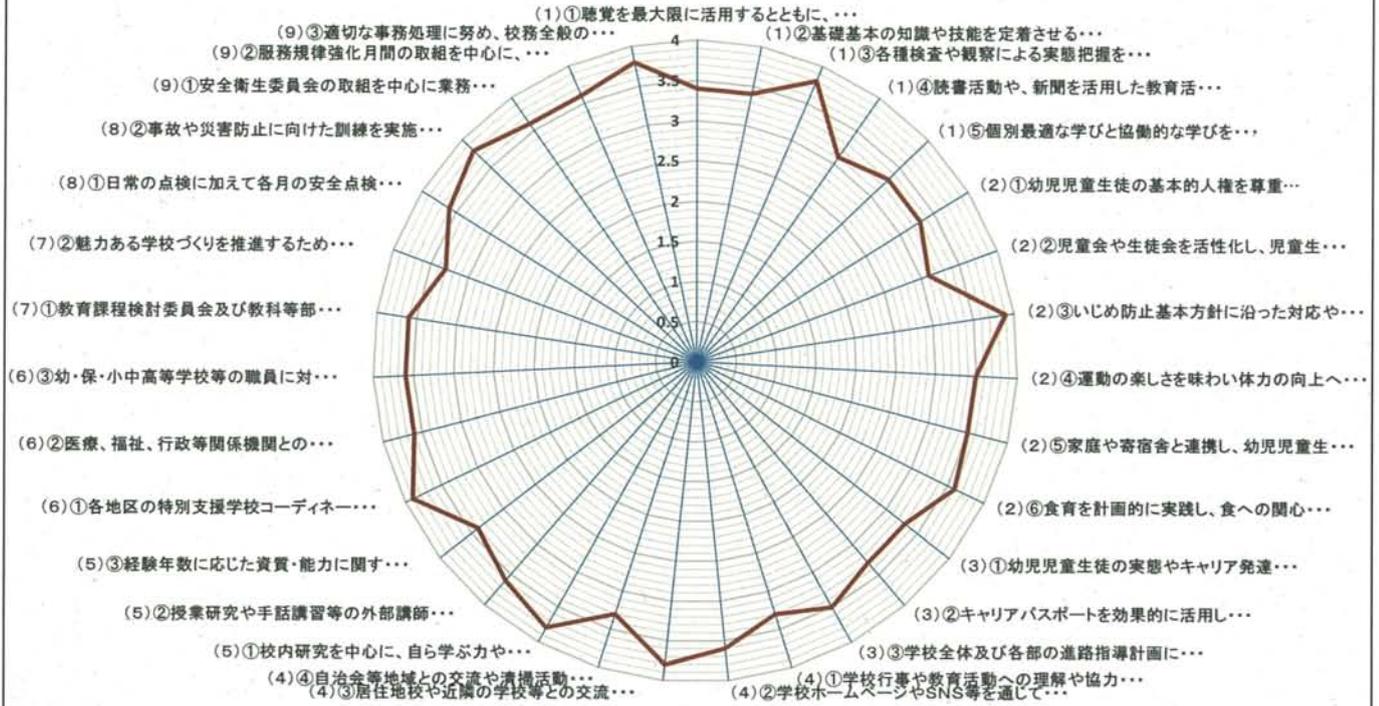
【自由記述】

・記述なし

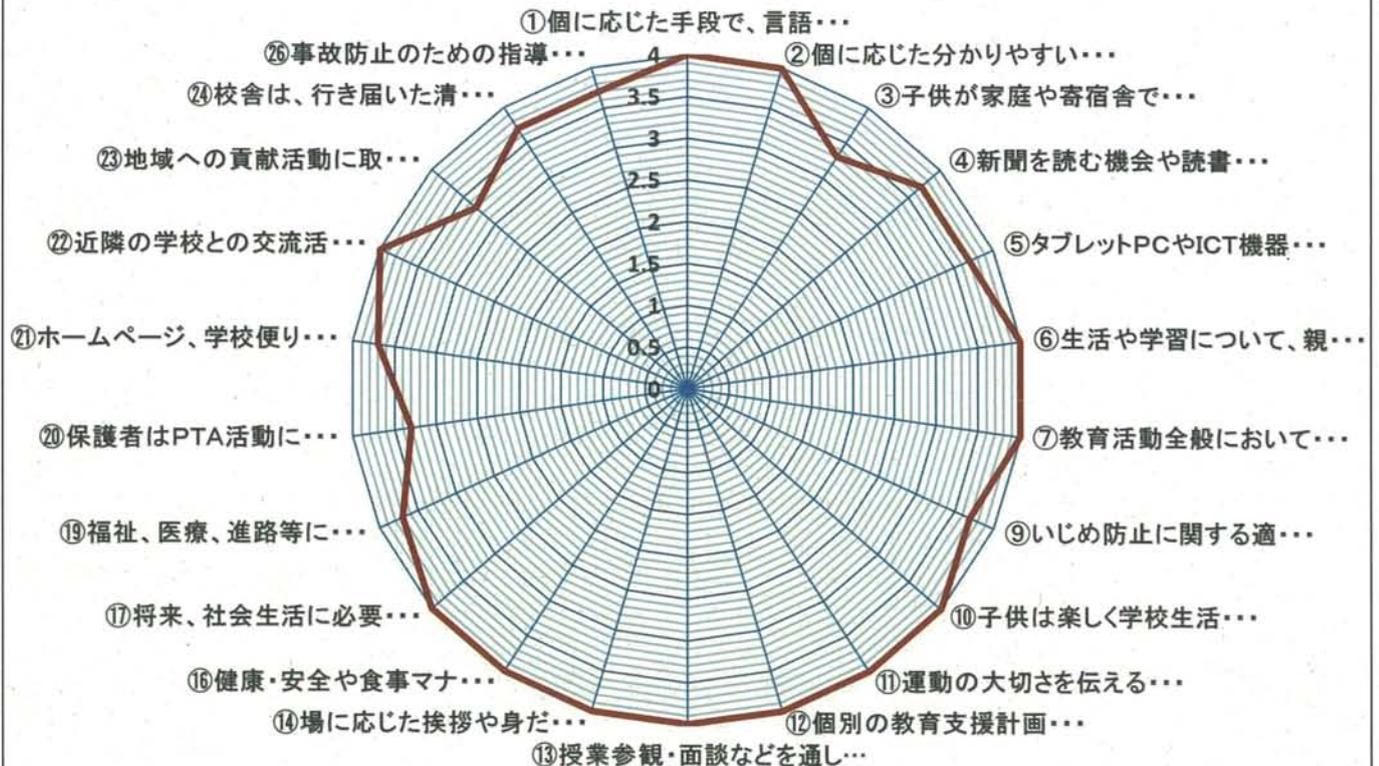
【成果と今後の課題】

・項目21「校内には、危険な場所がなく安全である。」について昨年度から0.5ポイント下がっている。具体的な記載はなかったが、校舎の老朽化や害虫などの校舎侵入などが要因として考えられるため、安全点検と点検後の改善の徹底と網戸の設置個所を増やすなどの努力をしていく。
 ・すべての項目で1や2の評価がなく、10項目で4の評価(内6つの項目は今回評価があがっていたもの)だったので、今後も児童生徒に寄り添った指導に努めていく。

分教室職員

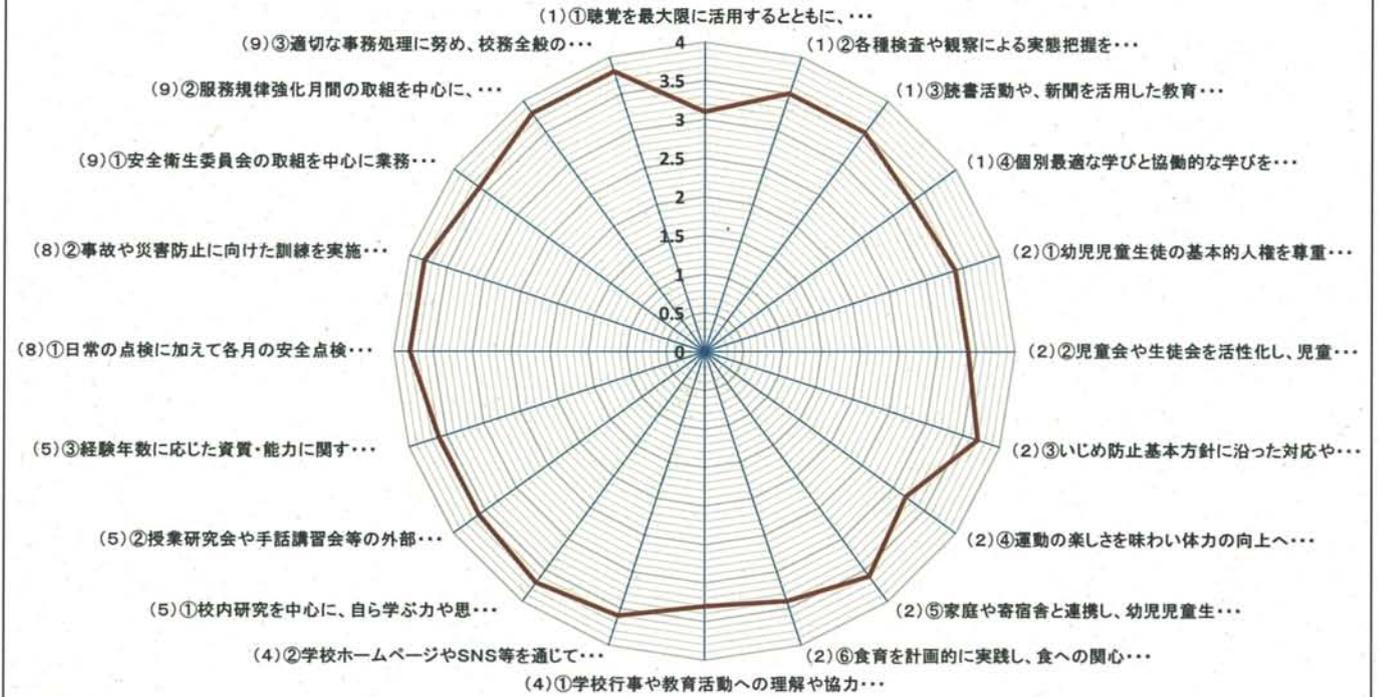


分教室保護者



(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.3)	4	30		○
	3	70		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
②授業研究や手話講習等の外部講師を招聘した研修会や「教師の心得」の活用により、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、教科等の指導力や特別支援教育に関する専門性の向上を図る。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底				
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		

寄宿舎職員



令和7年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(事務室)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部までの系統的な教育を行うことにより、生きる力を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服し、自己実現に必要な知識や技能、態度や習慣を養う。		
学校経営目標	①幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、言語力とコミュニケーション力を基礎に、確かな学力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性及び健やかな体の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導による進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ④家庭や地域、関係機関と連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥関係機関と連携し、乳幼児や学齢児に対する全体的な聴覚障害教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦長期的な視点に立ち、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に組織的に取り組む。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づいた働き方改革の推進とコンプライアンス遵守の徹底により、働きやすい職場環境づくりに努める。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化			
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	67 33 0 0	◎
(9)働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底			
①安全衛生委員会の取組を中心に業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底するとともに、職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
②服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底及び不祥事根絶に努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎

事務室職員

